

平成30年11月28日

議員定数等調査特別委員会

阿久根市議会

- 1 会 議 名 議員定数等調査特別委員会
- 2 日 時 平成30年11月28日(水) 9時58分開会
10時58分閉会
- 3 場 所 議場
- 4 出 席 委 員 岩崎健二委員長、白石純一副委員長、渡辺久治委員、
濱田洋一委員、西田数市委員、竹原信一委員、
仮屋園一徳委員、竹原恵美委員、中面幸人委員、
大田重男委員、濱崎國治委員、牟田学委員、
濱之上大成委員、山田勝委員、野畑直委員
- 5 事務局職員 次長兼議事係長 牟田 昇、議事係 大漣 昭裕
- 6 傍 聴 者 14名(うち報道機関1名)
- 7 会議に付した事件
・議員定数等調査について
- 8 議事の経過概要 別紙のとおり

審査の経過概要

岩崎健二委員長

ただいまから、議員定数等調査特別委員会を開会いたします。

本日は、11月1日に開催された区長総会において依頼したアンケートの集計結果と議員と語る会における市民の集約した意見を配布いたしましたので、御確認をお願いいたします。

本日は、区長の方々のアンケート結果、議員と語る会における意見を参考にしつつ、各委員の意見をお聞きしし、本委員会の審査等について、進めていきたいと考えております。

委員の皆さんの御意見があったらお願いします。

中面幸人委員

きょうのこの会をどんなふうに進めていくんですか。

岩崎健二委員長

今、中面委員から本日の会の進行についての質問がありましたので、委員長としての見解をお示しいたします。

委員長としましては、区長会のアンケート結果、さらに議員と語る会の意見等を本日配布しましたので、さまざまな意見が出ております。また、区長会のアンケートにつきましては、議員定数だけではなく、議員の活動等についてもたくさんのお意見を伺っているところであります。したがって、本日配布して、直ちにこれを参考にするというのは非常に難しいと思いますので、本日は配布のみにとどめ、これを持ち帰りいただき、熟読のうえ、次回の委員会において皆さんの御意見をお伺いしたいと思っております。その際は、定数だけでなく、定数から議会の活動等についても意見がありますので、それも含めて意見をお伺いしたいと思っておりますが、異議ありませんか。

山田勝委員

わかるけどね、私はそんなにこれを熟読して、あるいは持ち帰って検討するという必要はないと思いますよ。皆さんこれをごらんになればですね、わかりますよ。ですからあとはね、議員の皆さん方のそれぞれの考え方で結論を出せばいいわけで、私そんなにね、12月議会が4日にね、最終本会議ですよ。ですから、きょう結論を出せば4日に間に合うわけですから、私はきょう結論を出したほうがいいと思います。それぞれの意見を聞いてきょう結論を出していいと思いますよ。

岩崎健二委員長

ほかにありませんか。

竹原信一委員

私もそれに近い考え方でございます。そもそも前のときに、皆さんの市民のアンケートをしましょうよという意見も強くあったはずですけども、それは委員長の判断でそれはしないということでもございました。しかし、そして議員は、この区長会のアンケートというのはですね、市民の意見のごく一部でしか

ないわけですよ。日ごろから議員の皆さん感じてる、あるいは話もしてきている。そういった中でこの紙が2枚出てきたただけであって、これを持ち帰って熟読するほどの意味はないと思います。ここでわかるだけで、今で判断して、私たちはこの議員定数をどうするのかというそもそもの会なんですから、いろんなことはいいと思いますよ。議員定数会でははっきりさせましょうよ。

中面幸人委員

この今、きょうもらったですね、資料については、先ほど委員長が言われたように、議員定数のほか、議員に対するいろんな意見も出ておりますけれども、今回はですね、例えば、条例を変更するためにはこの議員定数だけなんだから、私も先ほど山田議員が言われたように、そんなに日をかけなくて、きょうみんなの意見を聞いてですね、早くやっぱり決定すべきだと私は思います。

白石純一委員

今回が3回目の委員会であります。4年前にされたときは恐らく4、5回以上されてると思います。また、議会運営委員会で行政視察に行った先では半年ほどかけて10回ぐらいの会を開いて慎重に審議されるということです。まだ、時間的には4月の選挙まで、変えないという結論であれば3月の本会議でも報告は遅くはないし、もし変えるというのであればやはり臨時議会を開かなければいけないでしょうし、私は拙速に、大事なことでするので拙速に結論を出すべきではないと思います。

岩崎健二委員長

ほかにありませんか。

渡辺久治委員

前回の委員会で市民アンケートの件も出されたんですけど、それはなされませんでした。そして、やはり拙速ではないかというふうに思います。というのは、今後市長選挙も控えておりますので、その争点にされてもこれはたまらんなというふうに思います。そういう意味では少し延ばして待って皆さんの御意見を聞いて、どうするか、継続するか、来年に回すか、今やるかということを決めていただきたいと思います。以上です。

岩崎健二委員長

ほかにありませんか。

竹原恵美委員

きょういただいたアンケート結果、たった4ページのものなんですけど、これを熟読する時間がと言われれば、私は事前に来て、30分以上前に来て目を書類は通してる人も多いです。今、机の上で見られた方に10分、15分あればこれは読めるものと思われま。きょう、この会を開いたというのは、きょう結論を出さずとも、ただこの紙を持って帰って、考えてというのではなくて、きょうこの会を、意見をこの時点で出し合わないと集まった意味はないと思います。きょう結論を出しましょう、出しませんじゃなくて、回数をこなすことが価値があるわけじゃなくて、この会議を持ったのであれば、きょうの意見を出し合って帰る。それで持って帰ってまたほかの人の意見も考える、自分の意見をまとめるということが必要なきょうの時間じゃないでしょうか。

岩崎健二委員長

ほかにありませんか。

仮屋園一徳委員

私はですね、きょう、会自体が議員等調査特別委員会ということで、やはりですね、定数もそうなんです、議員の報酬について、あるいは活動について、今さっきほかの議員からも言われましたように、1回、2回の会です、決めていいのかというのに非常に疑問を持ちますし、また、きょう決めなくてもまだ期間はあるし、例えば臨時議会でも開いて決めれば、期間的には間に合うわけですので、やはりもうちょっとその辺をばですね、これを今言われたように見るのは時間的にはそうかからないと思うんですけども、ただ、区長会の意見だけではなくて、区長の意見ではなくて、いろんなやはり報酬あるいは議員活動について、もうちょっと議論しながら決めていったほうがいいんじゃないかなと私は思います。

岩崎健二委員長

ほかにありませんか。

牟田学委員

この区長会のアンケートを見てもですね、定数については人口減が伴っててというのがだいぶ多いみたいです。ただ、定数を削減した場合に、それでは議員報酬はどうかというのも結構出ております。だから私たちは定数削減だけの委員会ではなくて。そのあとのこともやはり議論していかなくてはならないということでありましてですね、だからきょう決めるというのじゃなくて、4月までの間に定数を削減するならば、現状維持なら現状維持、それに伴って議員報酬とかですね、いろんなことをまだ話をせないかんとしますので、きょうはですね、各委員の意見を聞いてですね、また特別委員会を開いたらどうかと思います。

岩崎健二委員長

ほかにありませんか。

濱之上大成委員

一つの意見として、こういう流れが来たということをもっと私たちは理解せないかということ。執行機関と議会の関係、あるいは議会の改革、議会の活性化。これはやはり議会は何をやっているのかという捉え方で考えたときにですね、まず第1点は執行機関と議会が良好であるのか、あるいは2点目としては議会と執行機関が良好な関係であるのか、また、住民が求める議会改革のメインという、議会の現場を行おうとしている議会の活性化のメインという状況を考えたときにですね、実は、私は経験しているんですが、平成13年に22からですね、平成17年に16人に6人の減をしました。非常に大変でした。しかしながら、その16になった平成17年からもう10年、11年目に向かおうとしています。流れとして、ある程度16名で流れはついてきたと思いますので、今、この区長さんたちの14名というのはそろそろ妥当かなと個人的には私は思っております。ただ、委員長がおっしゃるようにもう1度しっかりと熟慮していただくということは大事なことであろうと思いますので、きょう結論を出すという前に、まずは時期は3月議会前の臨時議会で結論を出せると思いますので、私の意見としてはきょう出すにしても、できれば結論出すべき

時期がきているではなかろうかというふうに私は思います。以上です。

岩崎健二委員長

ほかにありませんか。

山田勝委員

議員報酬の話と一緒にされるんですけどね、私は議会には最終的な結論はね、議会に提案されるけども、議員の報酬については特別職等諮問委員会があつてですね、そこでずっと決めてきているわけでありますので、議会がそれこそ決められないことはないですよ。議会が即決められないことはない、議会が提案すれば。でも、それをね、ここで、もちろん希望としてはね、希望としてはそういうことが、定数を減らすということ、あるいはここに書いてあるように若い人が仕事できるような形で報酬も上げなくてはならないのじゃないかという意見としては出していいけど、結論はですね、議会が自分の給料を、議案を出すわけにはいかないわけだから、その付近はみんな考えておかないとですね。それは意見としては言っているけど、そういうことだということとですね、それから何回もですね、何べんも、まだ3回しとらんとこう言われますけれども、何遍でもしていることについては、ああ、議員は本当は減らしたくないんだよなというふうに思っている市民もいるということも頭の中に入れとかないと、やはりですね、適当なところで結論を出さないとですね、結果、市民からそういう目で見られるということになりますよと、私は皆さん方に言いたいです。

岩崎健二委員長

ほかにありませんか。

大田重男委員

きょうもらった区長のアンケート結果を見てもですね、16名が適当、16名が多いとか、これは半数半数になってるんですよ。その中で私はきょうは結論を出すのは難しいと思うんですよ。他市の状況を見ても、やっぱり1年ぐらいかかってやっていますね。そういう中できょう結論を出すというのは拙速な感じがするんですよ。いかがですか。

岩崎健二委員長

ほかにありませんか。

野畑直委員

この区長会のアンケートをお願いして、きょうまとめをもらったんですけども、区長会に11月1日をお願いをして、きょういろんな考えがあるからということで、市民の一部の意見であるということでもありますけれども、一応、区長さんは各区の責任ある立場でしてもらっているわけであって、その人たちの意見をあまりないがしろにしたような考えでもいけないと思うし、きょう結論をださなければいけないというのではなくて、12月4日まで、議会は最終本会議が12月4日ですので、きょう結論を出すのではなくても、あと2、3日してからまた特別委員会を開いてですね、する時間はあると思いますよ。きょうしないと12月4日に間に合わないということはないと思いますので、区長さん方の意見を十分反映したような形もとれる特別委員会に結論をですね。区長会のほうにも報告しなければならないと思いますよ。ですから、きょう結論ではなくても、あと2、3日してから委員会を開いてもいいわけですから、

私はそれも大事かなと思います。

岩崎健二委員長

ほかにありませんか。

竹原恵美委員

今、いろんなことを、きょうの進め方だったり、結論をいつ出すかだったり、ましては定数という委員会だったのに、今度は定数に報酬まで話を延ばした形にするという、いろんな意見が、ちょっと方向性が整わないように思うんですが、

[発言する者あり]

いえ、まだ話しています。報酬の話はまた報酬の委員会をつくられるなり、もともこのテーマ、ワンテーマで来てる、私、ワンテーマで提案をしましたので、これ以上、例えばこれ以上に報酬に対してもアンケートをとりたいという話をされても、これ進まないと思います。このワンテーマで来た委員会をまた話をふやしていくことは、もともと目的と違ってきてるんじゃないかと思います。

岩崎健二委員長

この定数等に関する調査特別委員会を決定するときに、皆さんの意見が定数だけじゃなくて、ほかのものについても協議しようということ、定数等というふうに等を入れたということで委員会をつくっていますので、定数のみじゃないと御理解をしてください。

竹原恵美委員

だけれども、今、アンケートを問う時点においてもそれは扱わなかったわけで、これ以上、例えば回数を引き延ばすとか、そんなことではスタートはしていません。報酬に対して重きを置くような委員会ではなかったはずです。

濱之上大成委員

竹原恵美委員の言うのもわかりはしますけども、いろんな意見を聞きたいという委員長の発想のもとにですね、議運委員長のもとで定数等というふうになったと思います。議員の中にはそういう報酬等もお考えの方もいるでしょうから、そういう意見が出たというだけであって、現実には竹原恵美委員が出されたこの提案書というのは定数の問題だとは思っています。だから私どももそれは理解していますよ。だけれども、僕は報酬のことは言ってませんが、議会の議員としてその意見を定数等といった場合はいろんな意見が出るであろうということを見込んでの委員会ですから。それはいろんな意見が出てもいいと思いますよ。以上です。

竹原信一委員

いろんな意見を聞く方法としてアンケートもしましょうと言った中で、時間もないからとかほかのいろんな理由を付けて、市民全体からのアンケートをとるのはやめた。そしてテーマとしてはいろんな報酬も一緒にもっと考えていきましょうと言って時間稼ぎをするようにしか見えないんですよ。こうやっただけだとこのままいくつもりじゃないかというふうには、市民からは見えないと思いますよ。私たちは信頼を損なうと思います、こんなやり方としていたら。

岩崎健二委員長

ほかにありませんか。

野畑直委員

今の意見に対してですけれども、我々は4月までの任期ですので、この会を設けて結論は、さっきから出てますけれども、12月4日に結論を出すことが委員会ではなくて、どうしても出せなかったら1月に臨時議会でもして、間に合う時期が、4月の改選に間に合う時期がいつなのかも考えながら、最終的にはこの委員会で結論は出さないといけないということで、次回の選挙に間に合うようなことも考えて結論は出すべきであって、12月4日に結論を出すことが正解ではないと思います。

岩崎健二委員長

ほかにありませんか。

濱崎國治委員

今、いろいろ意見が出ているところですのでけれども、私はこの区長のアンケート結果というのは非常にですね、適当と多いというが同数というのにちょっと意外性を感じたんですけれども。こういう区長の意見等もある中でですね、きょうとか、あるいは12月中に判断をするというのはですね、非常に私はもっと慎重にならざるを得ないと思います。ただ、なぜ私どもがこの議員定数等の調査特別委員会をしたかというのは、私は次の選挙に反映されるんだという、そういう考えのもとにこれは設置されたんだなど、私はそう思っています。ですので、拙速的にするんじゃないくて、次の4月の改選に間に合うようにですね、先ほどから意見が出ているとおり、あるいは1月に臨時議会でもしてですね、重要な案件ですので、臨時議会でもして、結論を出すというのも一つの方法ではないかというふうに思います。ですから、先ほど言いましたように、適当が32、多いが32、これをどういうふうに私たち議員が受けとめてですね、議員定数に反映させるかというのは非常に大きな課題だというふうに認識しています。

岩崎健二委員長

ほかにありませんか。

山田勝委員

今、濱崎委員が言うとおりでですね、私たちはこの委員会が設立されたときは、この次の選挙には反映するんだという気持ちでみんなされたと思いますよ。だから、そういう中でですね、最終本会議の日に間に合わせないかんという絶対的なものはないんだけど、でも、次の選挙に反映するためにはどうしても途中で臨時議会をしますよと、そういう形で今後やりましょうねというならそれでいいですよ。私たちは隣接の市町村とかですね、市とか、あるいは県内の市の都合を見ながら、やはりこれぐらいが適当だと私たちが決めないと、誰も決められないですよ。市民が決めるんじゃないですよ。私たちがどこの自治体と比較しながら、人口の推移を見ながらですね、これぐらいが適当だということにね、私たちが決めないかんということを見んなぜひ考えてください。そして、4日にしなくてもね、なるべくなら近いうちに臨時議会を開いてでも結論を出すんだという方向ならそれで結構です。

岩崎健二委員長

ほかにありませんか。

濱田洋一委員

先ほど来、皆様方の御意見をお伺いして、私も感じるどころですが、やはり、この区長会のアンケートの意見というのが多い理由とですね、現状維持ということで、半々ということであります。そうした中で、先ほど山田委員からもありましたとおり、ここで結論を云々ということではないくてですね、やはり委員長からもありましたとおり熟読して、自分たちが思っていないような意見の中にはあります。そうしたことで、これから限られた時間ですけれども、1月明けて臨時議会等開いて4月の選挙にはですね、間に合うような体制をつくっていくということが望ましいのではないか思うんですが、どうでしょうか。

竹原信一委員

定数等のための私たちは今集まったんですから、議論を始めましょうよ、中身の。今は進め方をやって、そしてもう少し話をしなきゃいかんねとなったら先に少しは送ってもいいかと思えますけども、その進め方について全部食ってしまったらいけないんで、やっぱり中身をどうしましょう、人数をどうしましょうかの議論に入っていきましょうよ、きょうは。

岩崎健二委員長

だから、今皆さんにお諮りをして、皆さんの意見を聞いているじゃないですか。中身についても最初、冒頭に委員長としては申しましたとおり、本日配布した区長会等の意見、あるいは議員と語る会の意見等を踏まえて、熟読し、またさらにはそれぞれ議員が議員活動の中でさまざまな人の、市民の皆さんの意見を聞きながら自分としての、各議員としての意見をお聞きしたいとうふうに申し上げているわけです。今、皆さんの意見を聞いてますと、きょう出せという意見と、熟読し、さらに委員会を重ねるという意見があるようです。

白石純一委員

熟読するのは、例えば休憩をですね、15分ほど、あるいは20分ほどとっていただければ十分熟読できる時間はありますので、その上でまずはきょうこのアンケートに関する皆さんの意見を聞くと、議論するというのは私は可能じゃないかと思えます。

中面幸人委員

大体ですね、この特別委員会が確か10月の5日に1回目をしたと思うんですけど、もうそれから2カ月近く経つわけですよ。私なんかはもう自分たちのですね、やっぱり地域の人たちとかいろんな意見をもう聞いてますよ。これ以上皆さんは延ばして何を調べるんですか。私はそう思いますけどね。もう、最初1回目の委員会からもう2カ月経つじゃないですか。私はそれぞれ自分たちの地域の人や支持する人たちの意見を聞いてですね、自分にははっきりと結論を持っておりますよ。まだこれ以上皆さん何を考えるんですか。

白石純一委員

私も自分なりに意見を持ってありますが、きょう出てきた区長会のアンケートを見ると意外な数字、結果、あるいは意外な意見もありますので、やはり区長会のアンケートも熟読せないかんだろうし、また、こういう結果に基づいて、

実は区長会の方というのは大変市政に理解のある方ばかりであります。市内には市民の方のほとんどの方は議員と語る会にも来られないし、また、区長さんともあまりコミュニケーションもとられないという方のほうが人数としては大多数だと思うんですね。したがって、そういう方々に対する意見も、アンケートができればよかったんでしょうけれども、アンケートはとらないということです。この区長会のアンケートも基に私どもとしては支援者なり、市民に意見を再度聞いてみるという時間も必要なのではないかなと思います。

岩崎健二委員長

私が熟読という意味はですね、これを何も読めと言ってるわけではないんです。中身について一つ一つ精査をしてほしいという意味で熟読ということではありますので、熟読というのは読む時間が十分という話ではないと委員長としては思っておりますので、熟読の意味を勘違いしないように、ひとつ御理解をいただきたいと思います。

ほかにありませんか。

[発言する者あり]

今、言いましたとおり、熟読し、読めと言ってるわけではないですから、中身について一つ一つ議員として精査をしてほしいということですので、御理解をいただきたいと思います。

竹原恵美委員

熟読とおっしゃるところにこだわられるようなんですけれども、文書を読むのは皆さん簡単です。それを精査していくという作業が必要だと委員長がおっしゃるなら、みんなで精査していかなければ意味がなくて、次、いったからこれを精査するという作業にはならないはずです。今、みんなでこういう意見もあるねと、意見を出し合いながら、これを見ながら進めるのが精査でしょうから。

岩崎健二委員長

精査、熟読につきましてはそれぞれの委員の皆さんが、それぞれ考え、あるいは区長さん、市民の皆さんの意見を聞きながら精査してきていただきたい。その上で委員会を開いて各委員の皆さんの意見を聞き、そこで皆さんで一つ一つ議論していけばと思っております。

竹原恵美委員

熟読、精査のことについて、この資料を受け取ってどうするかは委員長の支持を委員が受けるものではないように思います。きょう、皆さんの意見をまずこれを基に聞き取るということ、きょうまずやっていただきたい。それは複数意見も出てますので、数をとっていただいてもいいんじゃないですか。このまま帰れていうのか、それとも。

[発言する者あり]

岩崎健二委員長

暫時休憩します。

(休憩 10:27～10:38)

岩崎健二委員長

休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

ただいま、皆さんからさまざまな意見が出ているところであります。そこで、本委員会の進め方についてをお伺いしたいと思います。

本日、結論を出すべきか、あるいはこのアンケート等を持ち帰り、熟読するかして、次回の委員会とするかを賛否を問いたいと思います。

[発言する者あり]

竹原信一委員

もう一つの選択があるんですよ。ここで議員定数についての議論をしましょうよ。そしてその結果、延ばして、もっと話をせないかんねとなれば次の機会という話もありますけど、全然入りもしないで読むだけのためにきょう終わっちゃだめですよ。議論しましょうと、その定数について、しっかりここで。

牟田学委員

まずですね、今度の4月の議員改選に間に合わせるというのを決をとってですね、

[発言する者あり]

いろんな意見の中でこのままずるずるといような意見もありますが、議会として4月の改選に削減か、維持か、ふやすかという感じでですね、それはするということを前提に議論をしないと。

岩崎健二委員長

今、牟田委員の意見は、皆さん共通の意見だろうと認識をしております。少なくとも当委員会は、次期市議会議員選挙にこの意見を反映させるんだというのは皆さんの統一した意見だと理解していますが、よろしいですかね。

[「はい」と呼ぶ者あり]

山田勝委員

あなたが先ほど提案したようなやり方を、今後進め方をすればですね、審議はしないできょうはこれで終わりますよという話ですよ。そうじゃなくてですね、まだ皆さんの意見を聞いてですよ、そうして、もっと意見を聞いたほうがいいと思いますよ。言わない人いるし、だから。

岩崎健二委員長

今、皆さんの意見をお聞きしたところですね、定数についてもそれぞれお考えがあるということでは認識しておりますが、私が申し上げているのは、区長会等の意見も出ましたので、これも参考にして皆さんの定数に対しての意見をお聞きしたいということを申し上げているわけです。

[発言する者あり]

近日中にと考えてはおります。

濱崎國治委員

先ほどからいろいろ出ております。かつ、委員長の話もありましたとおり、別の委員からも、とにかく次の4月の改選には反映させるんだというのは皆さん共通のあれですよ。増加、あるいは削減する場合には条例改正が必要ですので、それは1月中に臨時議会を開いて条例改正をするんだというのをしとればですね、それまでにはそれぞれがこの議員定数についてですね、いろんな意見

を戦わせればいいと思います。1月の臨時議会に間に合うようにですね。かつ、先ほど議員報酬等についていろいろありますけれども、議員定数等特別委員会だから、議員報酬も含まれるんだといういろいろ意見もありますが、議員報酬については、基本条例の中で阿久根市特別職等報酬審議会を考慮するものとしてですね、明記してあるんですね。尊重じゃなくて考慮する、考えるということでしょうけれども。議員が提案する場合もいろいろ明確な改正理由を付して提出するとかいろいろありますが、でも基本的には報酬等について今回はですね、この基本条例からすればやはり報酬等特別職審議会の答申とかそれを尊重すべきじゃないかということで、今回は議員定数と、あるいはほかの政務活動費があればなんでしょうけれども。とにかく1月に臨時会をして決定するんだということをもとに、それまでにそれぞれの議員が、きょうは区長アンケートも出ていますので、それぞれの議員が今度はいろんな意見を考えて、自分はこうする、自分が民意を反映するためにいろいろ聞いたらかういうことになって、自分はこういう考えだということをするればいいわけであって、何もきょう拙速的にする必要はないと思います。いろんな意見があるわけですから、16名いるわけですから、いろんな意見があって当然だと私は思います。

竹原信一委員

どうもきょう結論を出すという話か、あるいはずっと(聴取不能)じゃなくて、じゃあ委員長は、近日中にもう1回開いて議論をすると言われるのであれば、それでもいいかもしれません。以上です。

渡辺久治委員

まず、この特別委員会の結論は市長選挙のあとにすべきだと思います。それは先ほど申しました。これによっていろんなことがなされてはならないからです。そしてもう一つ言えば、私はこの特別委員会というものは1年以上の期間をもってやらないとなかなか意見は出ないと思います。例えば、議員定数の問題、議員報酬の問題、ほかあるべき姿、いろんなことが問われます。ですから、そういう意味ではこれは任期が1年以上残したところで私はなされるべきだということを提案して私の意見を終わります。

濱之上大成委員

先ほど来ですね、意見も出ました。まさに区長のアンケートにしてもですね、住民の方はやはり議会の量の改革を重点に置いている。報酬の減、あるいは定数の減等ですね。行政コストに見合うだけの活動自体がどうなってるんだろうかという住民判断だと思ってるんですよ。そこで思いますのは、大体、皆さん一緒だと思いますので、どうか委員長の再配によってですね、きょうはこの程度におさめ、来年の1月の臨時議会において決を出すと、こういうことが妥当だと思いますが、いかがでしょうか。

竹原恵美委員

テーマのことですけれども、定数、報酬、さっき政務活動費というのが出てきました。この委員会では定数のことを中心にするということはそもそもの話であり、次の改選までには間に合うように結果を出すということも御1人以外共通認識と思っております。そういうことから報酬などほかの件については、先ほど濱崎委員も言われましたけれども意見を付する、直接すぐに変えられる

ことにはならないであろうと思われまので、定数について決をとるということだけははっきりしていただきたい。そしてほかのことについては次の議会なりでまだ話を続けていかれることだろうと思います。

山田勝委員

私はね、きょう決めてもいいと思ってますよ。でも、こればかりは私1人で賛成、あるいは誰かと賛成してもですね、数の論理ですからね、簡単にいかない。ですから、皆さん方が1月までには臨時議会を、結論を出すんだよと、そのために1回か2回かしないと仕方ないですよ、そういうことであればそれでいいですよ。だから、もう定数についてですね、この次の反映するというのはこれはわかってますよ、もうこの次の。ですから、皆さんそれぞれね、区長会の意見が出る、あるいは意見が出るということもだけれども、他町村、阿久根市の人口の関係、あるいは類似市の議員定数等々考えてですね、やっぱり議員が結論を出さないかんとということですね、もう人に聞いて回らなくていいです。私なんか人に聞いて回ったことは1遍もない。そういうことで、結論を出せるような方向でね。ぜひ進めてほしいと思います。

濱之上大成委員

このことはですね、まず住民の方に理解してもらいたいのは、大体がですね、本来であればこういう提案というのは3月ごろだったらなんと私は個人的には思ってます。9月に出た以上はですね、この流れとしてせざるを得ない。これは議員としての宿命です。しかしながら、こういうのが9月に出たこと自体が大変だったんですが、しかし、こういう流れであるがゆえにですね、本来であれば3月ごろ、あるいは1年前から検討すべきことであつたらうと思います。私はどっちでもいいような言い方をしますが、しかしながら、9月に出たためにこういうばたばたしているような状況であることを、一般市民は理解してもらわなきゃいけないと、それは思ってます。だからこそ、さっき言いましたようにこういう流れになった以上は、議員の宿命として自分の考えをしっかりとですね、1月の臨時議会で発信する。これが大事だと思います。以上。

白石純一委員

皆さんご存じのとおり、今国会で、昨日だったでしょうか。外国人労働者の問題についての委員会での採決が行われました。10数時間の審議が行われたわけですがけれども、他の委員会に比べると重要な法案については30時間以上、倍以上かけて審議したにもかかわらず、今回は非常に短かったなという論評も出ております。9月に出された提案ですがけれども、私どもは議員として私は十分審議できる時間があった。そしてこれからもあると思っております。確認ですが、議員定数を変更しない場合は3月の議会の報告、1月の臨時議会を必ずしも諮る必要はなく、議員定数を変更する場合に条例改正が必要ですので臨時議会を開かなければいけないという理解でよろしいでしょうか。

岩崎健二委員長

それでいいと思います。定数を変更しなければ条例の改正はありませんので、当委員会の委員長報告は3月議会でも何ら問題ない。ただし、定数を変更する場合は条例の改正が必要ですので、臨時議会なり、相応の時期に本会議を開いて条例を改正する必要があるというふうに思っております。さらに、条例を改

正する場合は市民への周知期間もそれなりに必要ではないかと考えております。

白石純一委員

今、確認いただきましたので、であれば変更する場合ですね、1月に臨時議会を開かなければ間に合わないと思いますので、12月中に結論を出すことは大事だと思いますので、私はきょうも含めて議論を重ねる、あるいは回数を重ねて慎重に審議することが大事ではないかと考えます。

竹原恵美委員

今の話だと12月中に表決しますということは委員長、皆さんの理解があると、そういうふうに思っていますか。

岩崎健二委員長

委員長としましては、次回、これを持ち帰りいただき、熟読した上で次回の委員会においては皆さんの意見を統一させていただきたい、定数についてはですね、次回の委員会では結論を出させていただきたいというふうには考えております。それはあとは皆さんの御意見次第であります。

[発言する者あり]

暫時休憩します。

(休憩 10:56～10:57)

岩崎健二委員長

休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

それでは皆さんの御意見をまとめたいと思います。

本日は、このアンケートをお持ち帰りいただき、熟読の上、次回の委員会においてそれぞれの委員の皆さんの最終的な意見をお伺いし、結論を出したいと思いますが、御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

異議なしと認め、そのように決しました。

次回の委員会の日程につきましては委員長に一任願いたいと思いますが、異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

異議なしと認め、本日の委員会は散会します。

(散会 10時58分)

議員定数等調査特別委員長

岩崎健二